

令和6年2月

小林市議会臨時会提出議案説明書

提案理由をご説明する前に、去る1月1日に発生しました令和6年能登半島地震によりお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

本市の姉妹都市である石川県能登町におきましても、住家を含む多くの建物や道路が損壊するとともに、道路の崩落による水道管の破損等に伴い、町内のほぼ全域が断水するなど、甚大な被害が発生したところであり、いまだ多くの方々が避難所や自宅での不自由な生活を余儀なくされているところでもあります。

このことを受け、本市におきましては、能登町からの要請に応じ、1月4日から、飲料水などの支援物資を搬送するとともに、

1月10日からは、本市の職員を派遣し、同町の災害対策本部の事務補助などの業務に当たるなど、継続的な支援を行っているところであります。

その他の支援といたしましては、ふるさと納税制度を活用した能登町への寄附金の代理寄附受付や、本市の各庁舎等に募金箱を設置し、能登町をはじめとする被災地への義援金の受付を行うとともに、市内の小中学校におきましては、能登町とのこども交流に参加した生徒の発案により「おこづかい募金」に取り組んでいただいたところであります。

また、市立病院におきましては、宮崎県知事からの要請に応じ、1月27日から2月3日までの間、石川県穴水町に災害派遣医療

チームである D M A T を派遣し、被災地への支援を実施したところであります。

今後におきましても、引き続き関係機関との連携を図りながら、能登町をはじめとする被災地の復興に向けて、できる限りの支援を続けてまいりたいと考えているところであります。

また、本市におきましても、今後、発生が懸念されている南海トラフ地震やえびのー小林地震などあらゆる災害へ迅速に対応できるよう、今回の職員派遣で得た教訓を生かし、引き続き危機管理体制の更なる充実を図ってまいります。

それでは、以下、議案について、ご説明を申し上げます。

議案第1号令和5年度小林市一般会計補正予算第11号につきましては、歳入歳出それぞれ2億8,695万7,000円を増額し、予算規模は315億8,788万5,000円となります。

まず、歳入につきましては、国庫支出金及び寄附金を追加する一方、繰越金を減額計上するものであります。

次に、歳出につきまして、ご説明を申し上げます。

民生費につきましては、住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯当たり10万円の給付金を支給するための費用や、住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯に

対し、対象児童1人当たり5万円の給付金を支給するための費用を計上するとともに、本市の姉妹都市である石川県能登町に対する災害支援に要する費用を計上するものであります。

教育費につきましては、本城原第2遺跡発掘調査において、当初の想定を超える遺構及び遺物が検出されたため、調査に必要な費用の組替えを行うものであります。

なお、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金（追加給付分）事業費ほか2事業につきましては、事業の完了が翌年度にわたることが見込まれることから、繰越明許費として予算計上するものであります。

以上、よろしくご審議のほどお願いを

いたします。